

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (全体)

事業所名	NPO法人 ここのわ橋本
住 所	相模原市緑区橋本6-31-16
電話番号	042(703)7608

事業所番号	1412606756
管理者名	三浦 理英
対象年度	令和7年度

(I) 労働時間		55 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	○	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		60 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(III) 多様な働き方 (※)		15 点
①免許・資格取得、検定の受検動要に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計 (注1)		5

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(IV) 支援力向上 (※)		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している	○	
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計 (注2)		5

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	

1事例以上ある場合:10点

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	

期限内に提出していない場合:-50点

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援 A 型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	

1事例以上ある場合:10点

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	165	点 / 200点
----	-----	----------

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～ IV、VI）

(I) 労働時間

前年度（ 7 年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	7775:50	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	1,693	人	利用者の1日の平均労働時間数	4:35	時間
-----------------------------	---------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

(II) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	6,353,376	円	利用者に支払った賞金総額	6,271,180	円	収支	82,196	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	--------	---

前々年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	7,329,609	円	利用者に支払った賞金総額	7,267,078	円	収支	62,531	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	--------	---

前年度（令和7年度）

生産活動収入から経費を除いた額	9,850,065	円	利用者に支払った賞金総額	9,798,699	円	収支	51,366	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	--------	---

(III) 多様な働き方

前年度（年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検制度に関する制度

①免許・資格取得、検定の受検制度に関する制度を定めている

②利用者を職員として登用する制度

②利用者を職員として登用する制度を定めている

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている

④フレックスタイム制に係る労働条件

④フレックスタイム制に係る労働条件を定めている

⑤短時間勤務に係る労働条件

⑤短時間勤務に係る労働条件を定めている

⑥時差出勤制度に係る労働条件

⑥時差出勤制度に係る労働条件を定めている

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

⑧傷病休暇等の取得に関する事項を定めている

(IV) 支援力向上

前年度（年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

①研修計画を策定している   
 ②外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。   
 ※研修名 令和7年度茨城県障害者虐待防止・権利擁護研修  
 研修講師 公益財団法人かながわ福祉サービス振興会  
 実施日・受講者数 令和7年11月7日 1人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

②研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している   
 ※研修、学会等名 障がい者就労進路フェス  
 実施日 令和8年1月28日 他  
 ※学会誌等名  
 掲載日 月 日  
 発表テーマ 障害者から事業者への移行種及び以降の連携（A型）選別について

③視察・実習の実施又は受け入れ

③先進的事業者の視察・実習の実施している   
 もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている   
 ※先進的事業者名 相談支援 事業所  
 実施日/参加者数 R8 1月23日 1人  
 ※他の事業所名 manaby 事業所  
 実施日/参加者数 R7 9月8日 2人

④販路拡大の商談会等への参加

④販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。   
 ※商談会等名 東京ケアウィーク  
 主催者名 ブティックス（株）  
 日時 R8 2月26日  
 内容 印刷カレンダーおよびリサイクル製品の販売・連携提案会。

⑤職員の人事評価制度

⑤職員の人事評価制度を整備している   
 ⑥当該人事評価制度を周知している   
 人事評価制度の制定日 年 月 日  
 人事評価制度の対象職員数 名  
 うち昇給・昇格を行った者 名  
 当該人事評価制度の周知方法

⑥ピアサポーターの配置

⑥ピアサポーターを配置している   
 ⑦当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している   
 ※配置期間 8月13日～3月31日  
 就業時間 8:30~17:30  
 職務内容 利用者の生活支援

⑦第三者評価

⑦前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている   
 ※評価を受けた日 月 日  
 第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている   
 ※認証を受けた日 月 日  
 規格等の内容

(VI) 経営改善計画


⑨指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。   
 ※受理日 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	NPO法人 ここのわ橋本	事業所番号	1412606756
住 所	相模原市緑区橋本6-31-16	管理者名	三浦 理英
電話番号	042(703)7608	対象年度	令和7年度

## 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>・年間を通して提供（実施）されている作業としては、①キャップの分別作業、②業務用ラップの溶融（ペレット作成）作業、③CD及びDVD箱入替作業、④CD研磨作業、⑤粗大ごみ扱い品・家電製品・フィギュアの解体・分別作業等。日々3～7名を1ユニットとして支援員と一緒に、愛川町中津の都市環境サービス株式会社様で就労をしています。</p> <p>・勤務形態は、(木)(日)休みの週5勤務、現在10名が利用中です。</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p> <p>写真：⑤粗大ごみ扱い品・家電製品の解体・分別作業 大型ゲーム機を解体しているところ（電動工具等の使用） 解体後は、リサイクルできる物できない物になるまで細かく分別していく。</p> 
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>一般企業での就労が何らかの理由で難しい方々に対し、雇用契約を結んで生産活動を行い、働く場所の提供と、一般企業へ就労するためのスキル及び社会性取得の訓練・ご自身の障害受容等を身につけていただけるように日々の作業を通して支援を行っています。言い換えれば、就労の実践的な活動を様々な内容の作業を通して、ご本人様方に提供する為です。</p>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>成果として労働者として働く意識を持つことで、ご自身の障害特性に向合う必要性や「労働の対価としての賃金」の位置づけの基礎的な事、安定した生活内容（食事・体調・精神状態等）の管理の重要性を、しっかりとご理解いただけるようになってきています。</p> <p>課題としては、障害受容に差異があったり、コミュニケーションをメインとした人間関係の構築に時間がかかるので、それを一般常識に繋げていくことです。</p>	<p>慣れない工具の取り扱いに苦戦する時もあるが、解体品の仕組みや資源として活用できる物・部品を知ることで、「消費生活とは何か」を考える良い啓発活動も兼ねているように思われる。</p>


## 連携先の企業等の意見または評価

<p>連携先企業様には、様々な場面でご配慮をいただきながら作業が出来る環境に感謝していると共に、業務を請け負って働く事の「義務や貢献」等も学ばせていただいている。そのことを忘れずに挨拶一つからでも「気持ちを込めて」行くと、「元気が良いね」等の温かい言葉を返して下さる。このような人間関係で大切なコミュニケーションの構築の場としても活用させていただいているので、とても有難い。時間内はしっかりと作業を行う事も支援提供する事で、「明日、急ぎの作業を手伝ってくれないか」の打診でお仕事をいただけたり、解体作業で手際のよい方へは「頑張っているね」「暑いから気を付けてね」等の労いもいただいている。</p> <p>「全体的には、しっかりと支援員の指示を聞きながら、行えている。挨拶や返事も良いし、活気があって頼もしい。不明点などがあっても支援員にしっかりと確認したりしている姿が良い」等と、ご担当者様より嬉しい評価もいただいているので、今後はより一層、労働者としての貢献が出来るよう連携及び訓練提供をしていければと思います。</p>			
連携先企業名	都市環境サービス 株式会社	担当者名	前田 隆之

## 就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	NPO法人 ここのわ橋本	事業所番号	1412606756
住所	相模原市緑区橋本6-31-16	管理者名	三浦 理英
電話番号	042 (703) 7608	対象年度	令和7年度

## 利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>令和7年度 神奈川県障がい者ピアサポート研修</p> <p>&lt;フォローアップ研修&gt; A日程 (2日間講習)</p> <p>昨年のピアサポート研修「基礎・専門」編を基により実務的な内容として「講習と演習」をしながら、理解を深め「ピアサポーターとして力を発揮」に繋げるための内容。</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p> <p>令和7年度 神奈川県障がい者ピアサポート研修</p> <p>&lt;フォローアップ研修&gt; A日程 (2日間講習)</p> <p>●1日目 (8月5日) 講義及び演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門研修振り返り</li> <li>・障害領域ごとの障害特性</li> <li>・ピアサポーターとして職場にもたらす効果</li> <li>・障害者雇用の実際と留意点</li> </ul> <p>●2日目 (8月13日) 講義及び演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアサポーターとしての能力を発揮し、働き続けるために必要なポイント</li> <li>・職場や関係機関との連携の中で発信力を高める事により専門性の発揮方法</li> <li>・ピアサポーターとして雇用される上での準備と・留意点</li> </ul> <p>&lt;写真&gt; ピアサポーター (本人、聴覚障害あり) として手話で演習内容の発表</p> 
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>「ピア」だからこそ提供できる、福祉現場で役立てられる「存在意義」や「仕組み作り」の大切さ・重要性を学び、実際の現場で実践 (役立てる) での社会的効果等の検証・課題の共有を計る為。</p>	<p>&lt;成果&gt;</p> <p>昨年の「基礎・専門編」を受講したからといって、すぐに実践的に活躍できる状況になるかといえば、そうではないことが良く分かった。雇用する難しさや雇用されての活動等、「ピアサポーターの理解」=職場配置=結果とはなりにくい現実がある。それでも日々の業務でスキルを磨きながら「定着」へと繋げる努力の大切さ、法人理解理解への問いかけ等の、連携が必要な事が分かって良かった。</p>

## 連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>&lt;事業所等の意見または評価&gt;</p> <p>「支援員」「利用者 (当事者)」の区別だけではなく、福祉の提供サービス内で「ピア」の存在を上手に活用し、関わる方々に「身近に」感じていただく事で、ピアサポーターだからこそ出来る (活躍できる) 内容と雇用の仕方を考える為の良いきっかけとなった。当事者目線の重要さや寄り添い等、気付きの共有や負担感の代弁などは「つい見過ごしがち」になりやすいと思うが、ピアサポーター発信との事で、捉える側の気持ちやその後の関わり方のアイデアで、様な支援が提供できる可能性があると思った。</p>	
連携先企業 (担当者)	<p>連携先企業：公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 (主催：神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市)</p>

## 利用者からの意見・評価

<p>「慣れない講座形式は大変だった。内容も難しかったが、事前の単語調べや演習の内容へと繋がる考え方の練習をしたことが役に立って嬉しかった。どう思いますか、考えてみましょう等、自分は (回答を) 想像をすることが苦手だとわかった。」と、障害特性ゆえの大変さはあったものの、講座内で自分の気持ちを言えたり、自分の障害特性が他者にとっては「不便」だという「差」を実感し、今までと違う姿勢やツールでのコミュニケーションが必要だという事にも、気付いていただけただけの様子があった。「演習での意見をまとめるのは難しかったが、思い切って通訳やファシリテーターの方々に助けてもらい、発表できたのは嬉しかった」と、ご本人様の自信にも繋がったよう。</p>
---